

五中だより



第7号

令和7年9月16日

文責：教頭 今井 拓也

鳳

学校教育目/標人間性豊かで、主体的に問題を解決する生徒
基本目標/①心の豊かな生徒 ②自ら考え、実践する生徒
③健康で、たくましい生徒
生活の3重点/「あいさつ」「無言清掃」「時間を守る」

上田市立第五中学校 TEL 22-3076

学校 HP <http://www.school.umic.jp/ueda5/>

〒386-0003 上田市上野441



PC・スマホ用

繋ぐ ～新しい五中～

鳳祭ポスターデザイン応募作品



10日を切りました

歌声を繋ぐ

学年を越えた合唱交流会

後輩へ繋ぐ

心を繋ぐ

小運動会練習 大縄跳び 全員リレー

掲示物 作成

思いを繋ぐ

全校制作

文化祭がいよいよ近づいてきました！校内ではどのクラスも準備に熱が入り、活気にあふれています。全校制作や教室展示の制作に取り組んでいます。合唱コンクールの練習にも力が入っており、当日がますます楽しみになってきました。

<令和7年度前期の学校評価』の集計ができましたので、次の5点に絞ってご報告いたします。>

☆詳細は、下記の集計表をご覧ください

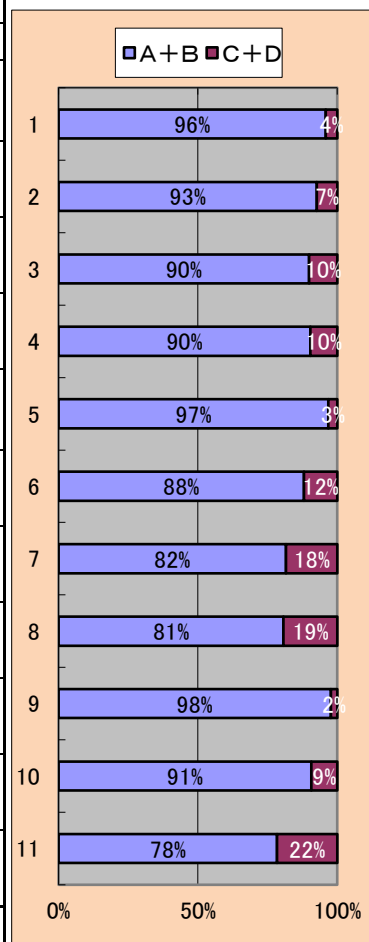
- 1 生徒の学習自己評価 → 教員の「わかりやすい授業」を向上させることを第一としながらも、学んだことを定着させるための家庭学習の大切さを伝えながら、学習に向かう姿勢作りをご家庭とともにつくります。そして、主体的に学習に取り組む学習習慣の定着をめざし工夫を続けていきます。
 - 2 生徒の生活自己評価 → 安心・安全で楽しい学校生活を維持していくために、“生活の3重点”を意識した生活づくりに努めます。また、担任を中心に全職員が生徒に向き合い、生徒の不安や心配事を聞き取って支援にあたります。
 - 3 生徒の授業評価 → じっくり自分の考えをまとめたり、互いに話し合ったりする場面を増やし、思考力・判断力・表現力の育成をはかります。
 - 4 保護者の学校評価 → ご家庭での心配事や継続した支援については、きめ細やかな連絡を心がけます。授業に関しては、今後も一時間の授業でつける力を明確にし、分かり易い授業を目指すとともに、学びが結果に結びつく授業を工夫します。
 - 5 学校自己評価 → 生徒一人ひとりの個性が輝き、生徒が生き生きと学べる学校を今後も目指します。
- ※なお、この集計結果は、学校運営委員やPTA三役の皆様にもお示しし、更に「学校関係者評価」としてご意見や提言をいただいたものをまとめ、設置者である 上田市教育委員会にも報告し、学校ホームページでも公開します。

学校評価アンケートでは、『学校への要望』等の記述欄に貴重なご意見を多数いただきました。本当にありがとうございました。内容を教務会や職員会でしっかりと検討してまいります。今後とも、第五中学校の教育活動にご理解とご協力をお願いするとともに、些細なことでも学校にご意見やご連絡をよろしくお願いいたします。

教育に関するアンケート集計（保護者）

A：よくあてあまる B：ややあてあまる
C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない

項 目	評価					割合		昨年度前期	
	A	B	C	D	合計	A+B	C+D	A+B	C+D
1 学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。（学校だより、学校要覧、講話など）	87	122	9	0	218	96%	4%	97%	3%
2 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	70	132	16	0	218	93%	7%	95%	5%
3 学校は、生徒の悩みや相談に対応してくれる。	70	126	21	1	218	90%	10%	93%	7%
4 学校は、家庭への連絡等、丁寧に行っている。	97	100	19	2	218	90%	10%	93%	7%
5 学校・学年・学級便りなどの学校からの情報は、適切な内容である。	78	133	7	0	218	97%	3%	97%	3%
6 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	96	96	20	6	218	88%	12%	87%	13%
7 子どもは、さわやかな挨拶ができている。（学校や地域で）	70	108	35	5	218	82%	18%	90%	10%
8 子どもは、時間を守った生活をしている。	67	109	39	3	218	81%	19%	80%	20%
9 子どもは、中学生にふさわしい服装や態度で生活している。	117	96	4	1	218	98%	2%	96%	4%
10 子どもは、部活動に意欲的に取り組んでいる。	117	39	10	6	172	91%	9%	91%	9%
11 子どもは、授業が分かりやすいと感じている。	44	127	42	5	218	78%	22%	79%	21%
平均					214	89%	11%	91%	9%



○全般的に、向上が見られています。引き続き、保護者との信頼関係を大切にして、家庭とともに生徒を向上させていきたいと願っています。

○学校からの情報発信（項目1、5）については、昨年度に引き続き、A+Bの割合が90%以上と高い割合です。今後も学校生活の様子や学校運営の願いなど、ホームページを活用した『学校だより』や、学年通信等を通じて発信してまいります。

○項目2～4については、90%を上回っているものの、昨年度よりもやや下がってしまいました。

100%までの数%を大切に考えてまいります。生徒の悩みや相談に即時対応するとともに、生徒間のトラブルに際しては、十分に聞き取りを行った上で、家庭とも情報を共有し、継続した支援を心がけます。また、担任だけでなく、学年職員、教科担任をはじめ、全職員が足並みをそろえ、生徒の指導と支

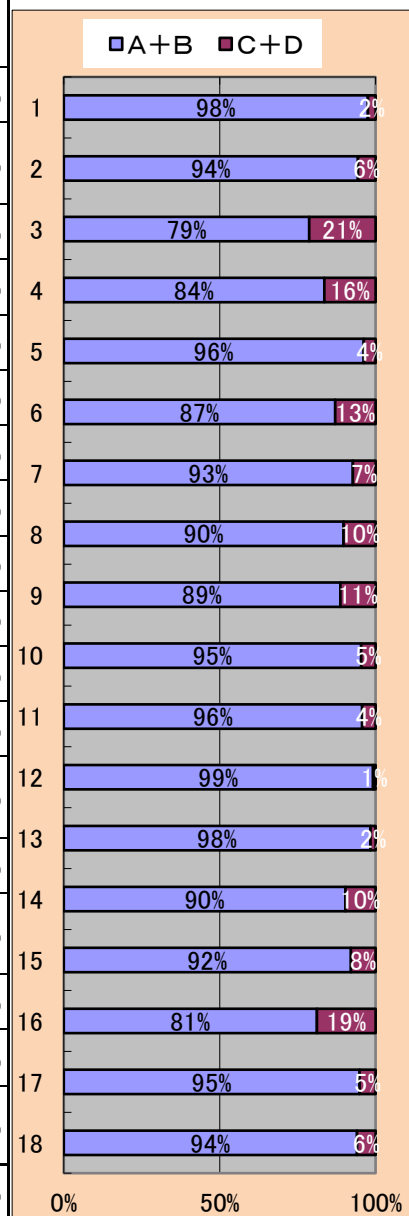
援にあたります。

- 学校の取り組みとして力を入れている「あいさつ」について、昨年度と比較して本年度は８％下がってしまいました。「あいさつ」は社会に出た時にも大切な、最も基本的なコミュニケーションであると考えています。より一層さわやかなあいさつが定着するように、生徒会や学年の活動、部活動の中でも大切にするとともに、私たち教師も率先してさわやかなあいさつを心掛け、生徒とともにあいさつの向上に励んでまいります。

学校生活に関するアンケート集計(生徒)

評価項目		評価												
		A	B	C	D	A+B	C+D	合計	A+B	C+D	A+B	C+D	A+B	C+D
学習自己評価	1 授業開始2分前に着席し、授業の準備をしている。	231	132	7	2	363	9	372	98%	2%	98%	2%		
	2 授業中は先生や友達の話真剣に聞いたりノートをていねいに取ったりしている。	179	172	19	2	351	21	372	94%	6%	94%	6%		
	3 宿題や提出ノートは毎日提出している。	139	154	61	18	293	79	372	79%	21%	81%	19%		
授業評価	4 先生方は、チャイムとともに教室に来ている。	83	228	51	10	311	61	372	84%	16%	84%	16%		
	5 先生方の授業はわかりやすい。	202	156	14	0	358	14	372	96%	4%	96%	4%		
	6 授業では、自分の考えなどを書く場面がある。	162	162	40	8	324	48	372	87%	13%	94%	6%		
	7 授業では、友達と考えを話し合う場面がある。	189	156	23	4	345	27	372	93%	7%	91%	9%		
生活自己評価	8 学校での生活は楽しい。	228	106	29	9	334	38	372	90%	10%	90%	10%		
	9 さわやかなあいさつができています。	201	129	37	5	330	42	372	89%	11%	91%	9%		
	10 時間を守った生活ができています。	200	155	17	0	355	17	372	95%	5%	95%	5%		
	11 友達の気持ちを考えた行動をしている。	212	144	16	0	356	16	372	96%	4%	96%	4%		
	12 服装を整え、生活の決まりを守って生活している。	297	72	3	0	369	3	372	99%	1%	99%	1%		
	13 無言清掃や給食当番など、自分の分担に責任をもって取り組んでいる。	255	111	6	0	366	6	372	98%	2%	98%	2%		
	14 生徒会活動や学校行事に積極的に参加している。	216	120	31	5	336	36	372	90%	10%	96%	4%		
	15 部活動(またはそれにかわるもの)に意欲的に取り組んでいる。	246	56	11	15	302	26	328	92%	8%	90%	10%		
生活評価	16 悩みなどの相談に乗ってくれる先生がいる。	158	144	47	23	302	70	372	81%	19%	80%	20%		
	17 先生方は、生活の3重点を意識して生活している。	179	174	15	4	353	19	372	95%	5%	91%	9%		
	18 学校は、命の大切さや社会のルールを教えてくれる。	212	138	17	5	350	22	372	94%	6%	93%	7%		
平均						339	31	平均	92%	8%	92%	8%		

A：よくあてあまる
B：ややあてあまる
C：あまりあてはまらない
D：まったくあてはまらない

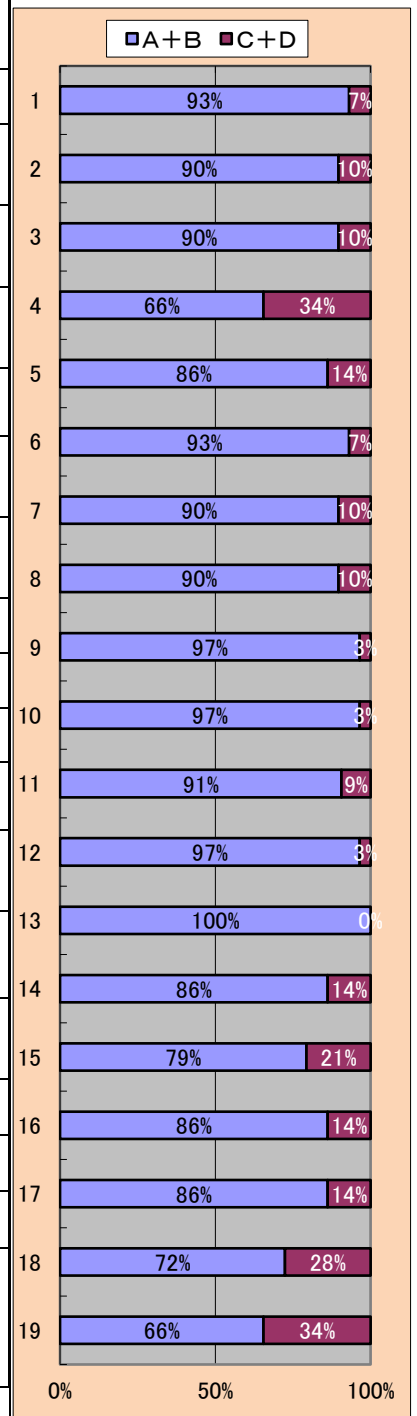


- 「学習自己評価」「授業自己評価」(項目1～7)の評価結果を見ますと、昨年度前期の割合と比較して多くの項目ではA+Bの割合に大きな変動はありません。全体として本校生徒の学習への取り組み方の良さがうかがえます。項目1ではA+Bの割合が特に高く、学習の準備や授業開始時刻への意識を今後も大切にしてまいります。
- 「生活自己評価」(項目8～15)では、昨年度とは同程度ですが、概ね90%を越えています。しかし、あいさつや生徒会活動への参加意識が昨年度と比較してやや低下しているため、後期は生徒会を中心としたあいさつ活動や、その他の生徒会活動への参加をより充実させてまいります。
- 「生活評価」(項目16～18)では、全項目で昨年度よりやや高くなっています。しかし、項目16の評価が他に比べると高くはないため、日常的に職員1人ひとりがより多くの生徒に声をかけることを意識しながら、生徒の気持ちの変化に気づくことを大切にし、生徒に寄り添った気持ちと行動を高めてまいります。

教育に関するアンケート集計（教職員）

A：よくあてあまる
B：ややあてあまる
C：あまりあてはまらない
D：まったくあてはまらない

領域		具体的方策	評価					評価		割合		昨年度前期	
			A	B	C	D	計	A+B	C+D	A+B	C+D	A+B	C+D
教育活動	1	1時間ごとの授業や単元でのつける力の明確化。	10	17	2	0	29	27	2	93%	7%	97%	3%
	2	学び合う授業場面の設定と個に応じた学習指導の工夫。	11	15	3	0	29	26	3	90%	10%	94%	6%
	3	生徒ひとり一人の学びを把握し、個を支援する授業	5	21	3	0	29	26	3	90%	10%	91%	9%
	4	自己評価や相互評価を取り入れた評価(見返し場面の工夫)	6	13	10	0	29	19	10	66%	34%	69%	31%
	5	自分の姿を追求するための体験を通じた授業	7	18	2	2	29	25	4	86%	14%	75%	25%
	6	五中人権宣言に基づいた人権同和教育、道徳教育の推進	10	17	2	0	29	27	2	93%	7%	94%	6%
	7	体験を取り入れた総合的な学習の時間の内容の充実	8	18	2	1	29	26	3	90%	10%	72%	28%
	8	意見を言い合える場の設定	9	17	2	1	29	26	3	90%	10%	91%	9%
	9	朝の読書、読書旬間中の一斉読書の推進	8	20	1	0	29	28	1	97%	3%	94%	6%
	10	生活の3重点、部活動の重点の深化	14	14	1	0	29	28	1	97%	3%	97%	3%
	11	規範意識の醸成と生命を尊重する指導の充実	14	12	3	0	29	29	3	91%	9%	84%	16%
	12	生徒の訴えや申し出に対する受け止めと即時対応。	15	13	1	0	29	28	1	97%	3%	100%	0%
	13	カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導(よく観る、よく聴く)	15	14	0	0	29	29	0	100%	0%	100%	0%
学校運営	14	学校だより、学年だより等の定期的な発行とHPの更新	12	13	3	1	29	25	4	86%	14%	84%	16%
	15	学校公開の実施と地域講師等の有効活用	11	12	6	0	29	23	6	79%	21%	72%	28%
	16	学級、学年PTAの充実と地域の方々との懇談	12	13	3	1	29	25	4	86%	14%	81%	19%
	17	個に応じた指導法の工夫と指導計画の見直し	9	16	4	0	29	25	4	86%	14%	88%	13%
	18	見合う授業参観やミニ研究会による指導方法や技術の研究	4	17	7	1	29	21	8	72%	28%	66%	34%
	19	公開授業や外部研修会への積極的な参加	4	15	8	2	29	19	10	66%	34%	59%	41%
平均								25	4	87%	13%	85%	15%



- 本校において大切に考えている「生徒が安心して学習、学校生活に取り組めるための規範意識の醸成」「生徒が困難に陥ったときの素早い対応」、また、「カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導」について全職員が心掛け、実践しています。今後も引き続き継続します。
- 項目1～3については90%を上回っているものの、昨年度からやや低下しています。単元の中でつける力を明確にしながら、さらに個に応じた指導ができるように努めてまいります。また、『主体的・対話的で深い学び』の実現に向け、授業の中で生徒同士が意見・思いを伝え合い、相互に高め合う対話的な活動をさらに大事にします。
- 項目10については、第五中学校でこれまで大切にしてきた三重点について、授業、生徒会活動、部活動とあらゆる場面で大切に考えてまいります。項目11については昨年度よりもポイントが上がっています。今後も規範意識や生命尊重の大切さを丁寧に指導してまいります。
- 項目18・19については、なかなか時間が取りにくい中ではありますが、個々に研修を積むことはもちろん、教職員同士が互いに研修し合う（互いの授業や学級経営を見合う）機会を設け、校内研修についても充実を図ってまいります。また、そこで得たノウハウを生徒への支援・理解につなげてまいります。